

輪

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

vol.
93北九州市立医療センター
広報誌「輪」ご自由
にお持
ください

がん特集

大腸がん

大腸がんに対する外科手術

令和6年度

新任医師の紹介

コメディカル紹介

放射線技術課



膠原病内科	部長	定永 敦司
総合診療科	副部長	横山 貴士
内分泌代謝・糖尿病内科	部長	末次 亮子
内分泌代謝・糖尿病内科	レジデント	二見 貴人
呼吸器内科	部長	田村 健太郎
呼吸器内科	レジデント	中島 和輝
消化器内科	部長	新名 雄介
消化器内科	部長	塩月 一生
消化器内科	副部長	本間 仁
循環器内科	部長	藤田 敦子
循環器内科	レジデント	新宮 直人
小児科	嘱託医	野口 貴之
小児科	部長	小野 宏彰
外科	主任部長	小林 毅一郎
外科	部長	田辺 嘉高
外科	部長	伊達 健治朗
外科	部長	倉田 加奈子
外科	副部長	畑井 三四郎
外科	レジデント	吉田 泰樹
整形外科	レジデント	宮房 玲奈
整形外科	レジデント	徳永 真一

呼吸器外科	部長	松原 太一
小児外科	主任部長	中村 昌俊
小児外科	副部長	山口 修輝
皮膚科	副部長	水野 亜美
皮膚科	レジデント	黒木 千晶
泌尿器科	副部長	児浦 未季史
泌尿器科	レジデント	重安 哲志
産婦人科	副部長	鈴木 りりこ
産婦人科	レジデント	安藤 伶旺
産婦人科	レジデント	本村 真由子
産婦人科	レジデント	井上 瑛
眼科	部長	木下 博之
耳鼻咽喉科	部長	増田 智也
耳鼻咽喉科	部長	鈴木 智陽
放射線科	副部長	吉満 凜吾
放射線科	部長	中武 裕
放射線科	レジデント	黒木 翔太
放射線科	レジデント	中村 瞭
	初期臨床研修医	城田 武士
	初期臨床研修医	中原 千晶
	初期臨床研修医	松元 理恵

※令和6年3月31日付で退職となりました。大変お世話になりました。

標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肛門外科	整形外科	小児外科	放射線科
肝臓内科	消化器内科	外科	肝臓外科	形成外科	皮膚科	病理診断科
血液内科	循環器内科	消化器外科	胆のう外科	リハビリテーション科	泌尿器科	救急科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	膵臓外科	脳神経外科	産婦人科	麻酔科
診療内科	内分泌・糖尿病内科	内分外科	食道外科	呼吸器外科	眼科	歯科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	胃腸外科	心臓血管外科	耳鼻咽喉科	

基本理念

わたくしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます
7. 職員が誇りを持ち、安心して働ける職場環境をつくれます

編集後記

広報誌「輪」編集長 高島 健

大腸がんがいつの間にか増えています。びっくりです。今も増え続けています。2度びっくりです。発生には生活習慣が深く関わっているそうです。脂肪や肉類の取り過ぎ、穀類・豆類などの食物繊維や野菜・果物の摂取不足、運動不足、喫煙、飲酒などが誘因になると言われています。物価が上がっていますが、食物繊維や野菜、果物をなるべく毎日食べて運動をして、喫煙や飲酒は控えましょう。個人的には特に飲酒を控えたいと思います。みなさんはどれを習慣づけますか。

輪 vol.93

発行日：2024年5月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号

TEL.093-541-1831 (代表) FAX.093-533-8693

外来予約センター 093-533-8660

[月～金 9:00～16:30]紹介状または二次検診初診受付

ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

ホームページ



Facebook



Instagram



X

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

大腸がん

大腸がんに対する外科手術

大腸がんについて

日本人の死因でもっとも多いのが、大腸がんは非常に身近ながんのひとつで、罹患数（新たにがんになった人の数）は男性では約9万人、女性では約7万人で、部位別では男女ともに2位、全体では1位になります。その数は30代頃から少しずつ増え始め、50歳頃から急激に増加します。また、部位別死亡数でも男性で2位、女性では1位となっています。

大腸がんの治療

大腸がんの治療には内視鏡治療、外科手術、化学療法（抗がん剤治療）、放射線治療などがあります。0期から1期までに対しては内視鏡（大腸カメラ）治療あるいは手術を行います。2期から3期に対する治療の中心は手術で

す。状況によって化学療法を併用することもあります。4期に関しては化学療法を中心に、必要に応じて手術を行います。進行度に応じて選択しますが、それらを組み合わせた「集学的治療」が行われることも多くなっています。

大腸がんの外科手術

体内からがんを直接取り除くことができる外科手術は、高い治療効果が期待できます。

そのため、外科手術は大腸がんの治療法の中心となっています。大腸がんの手術では、腹腔鏡手術、ロボット支援手術などのからだに優しい低侵襲手術から、他臓器合併切除などの拡大手術まで様々な治療があり、がんの部位と進行度に応じて適切な手術を行うことが重要になります。

低侵襲手術

（腹腔鏡手術・ロボット支援手術）

腹腔鏡手術はおなかに小さな穴を開け、おなかの中を内視鏡（腹腔鏡）で観察しながら行う手術です。開腹手術に比べてキズが小さくて済むことや、術後の痛みが少ないこと、術後の腸管運動の回復が早いために早くから食事がとれること、入院期間が短く早く社会復帰ができることなどが利点です。また、腹腔鏡手術と同じように、おなかをふくらませ、ロボットアームを挿入して手術を行うロボット支援手術があります（ダヴィンチ）。ロボットアームは多関節で手ぶれがなく、腹腔鏡手術と比較してより繊細な手術操作が可能になると期待されています。当院では大腸がんの手術の90%以上を腹腔鏡手術で行っています。また、地域でもいち

早くロボット支援手術を導入し、ロボット支援手術の割合も増加しています。

拡大手術

大腸がんは進行すると周囲の臓器（膀胱や前立腺、子宮などに浸潤することがあります。その場合、周囲臓器ごと切除する拡大手術を行うことがあります。体への負担が大きく手術難度も高いですが、がんの根治が得られる治

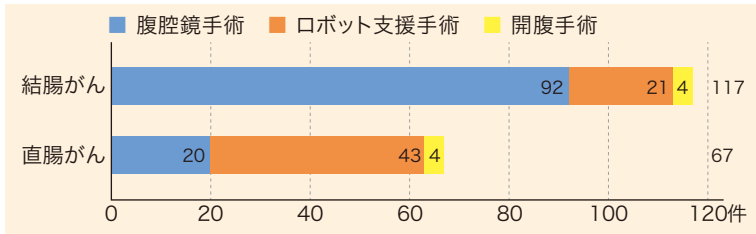
療方法です。当院においては、拡大手術においても腹腔鏡手術やロボット支援手術で行うことにより、少しでも体への負担を軽減することを目指しています。

直腸がんの術前治療

大腸の中でも肛門に近い直腸にできただんに対し、術前に化学療法や放射線療法を行ってから手術を行うことが欧米では標準治療となってきました。

術前治療を行うことでがんが消失した場合には、手術を行わないで経過をみることもできる可能性があります。日本ではまだ標準治療ではありませんが、今後普及していくと考えられます。上述したように大腸がんに対する治療は日進月歩です。当院では最新の治療法を取り入れ、安全で質の高い外科手術を行っています。大腸がんと診断された方のお力になれば幸いです。

■大腸がん手術件数(2023年)



da vinci Xi 手術

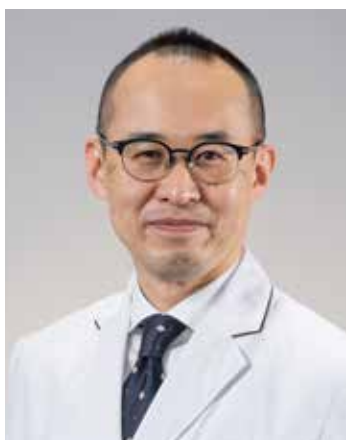
PROFILE

永井 俊太郎

身体への負担が少ない内視鏡外科手術を中心に大腸がん手術を行っています。手術の技術を磨き患者さんに提供することはもちろんですが、患者さんに寄り添いながらの診療を心がけています。「最高最良」の医療を提供できるようスタッフ一同努めておりますので、よろしくお願いいたします。

- 専門医等**
- ・日本外科学会専門医・指導医
 - ・日本消化器外科学会専門医・指導医
 - ・日本内視鏡外科学会技術認定医
 - ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
 - ・日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 - ・ダヴィンチサージカルシステム術者資格認定
 - ・日本ロボット外科学会Rob Doc certificate（国内B）
 - ・臨床研修指導医

- 学会関係**
- ・日本外科学会
 - ・日本消化器外科学会
 - ・日本内視鏡外科学会
 - ・日本大腸肛門病学会
 - ・日本臨床外科学会
 - ・日本癌治療学会
 - ・日本消化器病学会



北九州市立医療センター
大腸・骨盤外科 主任部長
なが い しゅん た ろう
永井 俊太郎



産婦人科

なか じま ひろ やす
中島 寛康



泌尿器科

なが とみ ゆう こ
永富 裕子



皮膚科

すず き ゆ み か
鈴木 裕美佳



呼吸器外科

こう づま ゆ か
上妻 由佳



膠原病内科

よし だ りょう ち
吉田 良知



総合診療科

ない とう ひろ し
内藤 宏



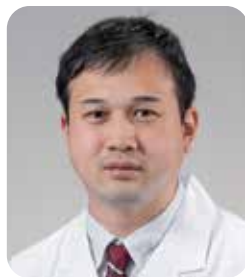
小児外科 主任部長

み よし
三好 きな



放射線科 主任部長

かみ たに たけ し
神谷 武志



放射線科(治療)

おお しま たけ し
大島 健史



耳鼻咽喉科

さい とう ゆう いち
齋藤 雄一



産婦人科

とく い ひろ は
得居 広葉



産婦人科

なか の こう た
中野 幸太



循環器内科

ます なが とも か
増永 智哉



消化器内科

こ だま のぶ よし
小玉 将義



消化器内科

ひじ おか まさ ゆき
肱岡 真之



呼吸器内科

あり むら ひで のぶ
有村 豪修

内分泌代謝・糖尿病内科 徳田 志穂子 とくだ しほこ

内分泌代謝・糖尿病内科 豊川 絢子 とよかわ あやこ

呼吸器内科 前原 ひとみ まえはら ひとみ

消化器内科 松本 龍弥 まつもと たつや

外科 川地 眸 かわけ ひとみ

小児外科 松岡 史生 まつおか ふみお

皮膚科 井上 慶一 いのうえ けいいち

泌尿器科 前川 博紀 まえかわ ひろき

産婦人科 是澤 魁仁 これさわ かいと

眼科 下川 翔太郎 しもかわ しょうたろう

耳鼻咽喉科 小池 健輔 こいけ けんすけ

放射線科(診断) 安部 時子 あべ ときこ

病理診断科 檜原 直起 ならはら なおき



放射線科(診断)

た はら けん ぎぶ ろう
田原 健三郎



放射線科(診断)

たか ぎ かつ ひろ
高木 勝弘



外科

こ ぞの しん ぎ
小園 真吾



外科

さくら い つばさ
櫻井 翼



外科

こい かわ かず ひろ
肥川 和寛



小児科

か つき ひ か る
香月 比加留



整形外科

たか み あき ひさ
高見 章久



整形外科

や ぎ ひろ き
八木 宏樹



外科

よし たけ きょうすけ
吉竹 亨介



外科

しげ まつ けい いち
重松 慶一

放射線技術課



放射線技術課
課長

さだ すえ かず ひろ
貞末 和弘

放射線技術課には放射線治療部門と画像診断部門（一般撮影、透視血管造影、R、CT、MR）があり、診療放射線技師32名で構成されています。各部門では、医学物理士や学会認定を取得した職員がリーダーとなり、最新の情報を取り入れた業務を行っています。また、福岡県診療放射線技師会、北九州診療放射線技師会、各種勉強会には理事や世話人として参加しており、地域医療の発展にも積極的に関与しています。

当院は地域がん診療拠点病院であり、悪性腫瘍に関する画像診断が非常に多く、造影検査の割合はCT検査で60%、MRI検査で40%を超える状況であり、他施設と比較して著しく多い状況です。患者さんの状態把握はもちろんですが、装置の性能

維持、メンテナンスにも十分心がけており、診断に最適な画像を提供いたします。スタッフ一同、患者さんには安心して検査を受けていただけるよう心がけています。

一部、装置の紹介をさせていただきます。MRI検査部門では2022年10月に3T（3テスラ）MRI装置を導入しました。さらに2024年3月には、1.5T（1.5テスラ）MRI装置をバージョンアップしました。最新技術であるディープラーニングアルゴリズムを適用し、画像を構成することで、ノイズ低減、画像の尖鋭度向上、アーチファクトの低減などのメリットを得ることができました。以前よりも短い時間で高画質な画像を提供してまいります。当院では磁気共鳴専門技術者が7人在職しています。現在、導入直後であり調整中ですが、写真の2人（左下）を中心に最善を尽くしています。MRI部門に限らず他の部門においても、北九州市立病院機構のチーム医療を支えていけるように、誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしく願いたします。



- 1 一般撮影
- 2 マンモグラフィー
- 3 放射線治療装置（リニアック）
放射線部（治療）外来
- 4 透視血管造影検査
- 5 CT検査
- 6 MRI検査



病院の **か** **か** **り** **方**



かかりつけ医を持ちましょう

北九州市立医療センターは地域医療支援病院ならびに紹介受診重点医療機関として、地域の「かかりつけ医」と連携して共同で継続的な治療を行っており、当院を受診する際は原則かかりつけ医からの紹介状が必要です。

また、当院での治療で症状が安定した患者さんは地域の「かかりつけ医」や医療機関で治療を継続していただきます。病状に変化があった場合などには、かかりつけ医からの紹介状をいただいたうえで、あらためて当院で治療を行います。



かかりつけ医とは…？

- ・健康に関することを何でも相談できます
- ・必要時は専門の医師・医療機関を紹介してくれます
- ・身近で頼りになる医師です



かかりつけ医を持つメリット

- ・日頃のみなさまの健康状態を知ってもらえます
- ・症状に応じた専門家の紹介がスムーズです
- ・病気の予防や早期発見・早期治療にもつながります



かかりつけ医の探し方

- ・かかりつけ医はご自身で選択できます
- ・かかりつけ医は一人に決める必要はありません
- ・どの診療科の医師でもかかりつけ医になります



当院は、急性期の患者さん、他の医療機関での治療が困難な患者さんをより多く受け入れる役割を担っています。今後も逆紹介を推進してまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

かかりつけ医のない方、通いやすい医療機関をご希望の方には、当院の「かかりつけ医相談窓口」がご相談に応じます。

マイナンバーカードの保険証について(マイナ保険証)

当院では、2021年10月20日よりマイナ保険証を利用した「オンライン資格確認システム」の運用を開始しております。

オンライン資格確認とは、医療機関や薬局窓口でマイナンバーカードのICチップにある電子証明書、または健康保険証の記号番号等により、医療保険の資格情報や限度額区分が確認できる仕組みです。また、オンライン資格確認システムを用いて、患者さんが同意された場合、主治医が診療情報、薬剤情報、特定健診情報の閲覧が可能とあり、それらの情報に基づいた診療を行うことができます(閲覧機能は現在準備中)。

マイナンバーカードを利用する際の**注意点**は以下の通りです。



- ☒ マイナンバーカードを健康保険証として利用するには、**事前に健康保険証利用の申込み**が必要です。

※必ずご自身で手続きを行ってください。

- ☒ マイナ保険証での資格確認は**初診受付**(1階1番窓口)、**計算窓口**(1階3番窓口)、**時間外受付**(1階90番窓口)でご利用できます。

- ☒ **各種公費受給者証には対応していません**ので、**受給対象の方は、今まで通り紙の受給者証のご提示**をお願いいたします。

- ☒ オンライン資格確認システムの障害等によりマイナ保険証が利用できない場合がありますので、**マイナ保険証での受診時でも、念のため保険証原本を持参**してください。

- ☒ **従来通り健康保険証も対応可能**です。



ご不明な点がございましたら、医事係までお問い合わせください。

こくらリウマチ科・内科クリニック

北九州市小倉北区中井5丁目18番14号
TEL:093-967-9686

診療科目

膠原病・リウマチ科、
内科

診療時間

休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日・祭日
午前受付時間：8:30-11:30
午後受付時間：13:30-16:30

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	●	●	●	●	●	●	—
13:30~17:00	●	●	—	●	●	—	—

1階診察室▶



院長 名和田 雅夫 医師

当院について

この度、小倉に「こくらリウマチ科・内科クリニック」を開院させていただきました。当院の強みでもあります関節エコー（日本リウマチ学会登録ソノグラファーの資格医師在籍）などのエコー検査のほかに、血液尿検査（最短で約20分で結果判明）、X線検査、CT検査や骨塩定量など行うことができます。近隣の医療機関と連携して、診療を行っていきます。よろしくお願いします。

地域の方へ、患者さんへのメッセージ

診療をなるべく自施設で完結できるように医療機器などの体制を充実させました。詳細はホームページをご覧ください。治療におきましては、患者さんと情報共有をしながら、診察や検査結果をもとに、一緒に治療方針を話し合っ決めていきます。よろしくお願いします。

連携病院のご紹介

Cooperation Hospital



医療法人社団天翠会 小倉きふね病院



北九州市小倉北区貴船町3番3号 TEL:093-941-4550 FAX:093-922-7461

診療科目

内科、消化器科、呼吸器内科、
耳鼻咽喉科、アレルギー科、
整形外科、リハビリテーション科



院長 松井 豊 医師

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:45	●	●	●	●	●	●	—
14:00~17:00	●	●	●	●	●	—	—

当院について

小倉きふね病院は病床数99床の回復期機能を主とした病院です。

2018年12月の新築移転から5年が経過しましたが、その間近隣の医療機関からの患者紹介数は増加しています。特に急性期病院からの紹介が増加していますので、当院としましても在宅復帰に向けた支援を促進しております。

今後とも北九州市の高齢化に伴い、これまで以上のご紹介をお受入れするとともに、在宅復帰機能を強化していく必要性があるものと考えています。診療所の先生方また介護施設等の皆様との連携をより推進することで地域の医療介護サービスに貢献してまいります。

地域の方、患者さんへメッセージ

小倉きふね病院理念

【安心できる医療を提供し、地域社会に貢献できる病院を目指します】

当院の理念のもと、常に地域において必要とされる病院施設でありたいと考えています。

内科、外科、整形外科など各診療科において専門の医師が診療を行っています。CT、MRI、胃カメラ、大腸カメラ、超音波診断装置などを設置していますので、様々な疾患に対応することが可能です。

ど・こ・で・も

出

前

講

座



お申し込みは
当院ホームページより
お願いします。



テーマ メンタルヘルス・うつ病



テーマ 目の健康について



テーマ 乳がんの自己検診

お申し込み先 事務局経営企画課広報担当 TEL 093-541-1831(代表)

公式SNS 好評配信中

当院では、各SNS (Facebook・Instagram・X・YouTube) を通して病院の最新トピックやイベント情報、病気の予防・健康づくり
に役立つ情報をお届けしています。

QRコードよりぜひチェックしてください！

フォロー・チャンネル登録もよろしくお願いします！



Facebook



Instagram



X



YouTube

